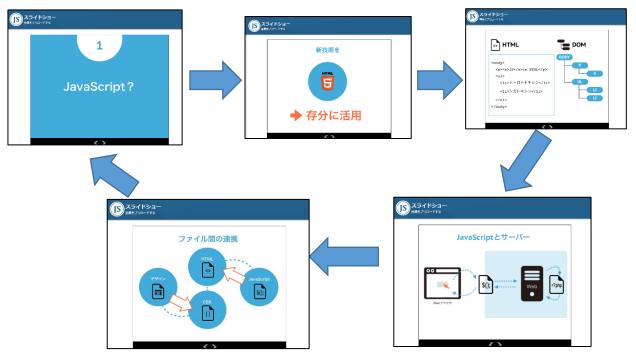
## 問題 自動スライドショー!

今作った、スライドショーを3秒づつ自動で表示するように変えてみよう!



5-05\_slide フォルダの中身をコピーして改造しよう! タイマーの部分は前回やった 5-01\_countdown を活用しよう!

3秒は3000ミリ秒なので、setTimeout の第2引数は3000になります!

例によって、次ページよりヒントを書いていきます。 見たくない人はノースクロールで!

完成して時間が余ったら、好きな画像に変えたり表示する画像の数を増やそう!



ヒントその1

3秒ごとにタイマーを動かすのは以下のようにすれば OK!

上記のプログラムは

```
recalc が呼ばれる
↓
refresh が呼ばれ、3秒後に recalc が実行されるタイマーがセットされる
↓
3秒後に reclac が呼ばれる
```

が繰り返されます。

やりたいことは、順番に画像を表示することです。

表示したい画像のファイル名は images 配列にあるので、この配列の中身を3秒ごとに0番目から順に取り出して、img タグの src 属性にセットすれば OK!

何番目を取り出すかは current を使うと良い。 3 秒ごとに current のなかみが  $0 \to 1 \to 2 \to 3 \to 4 \to 0 \to 1 \to 2 \to 3 \to 4 \to 0 \to \cdot \cdot \cdot$  と変化するようにする為にはどうしたらいいかな? → ヒント: 商の余り

配列から取り出したデータをセットするのは、教科書 P.230 辺りを見てみよう



current の変数を

 $0 \rightarrow 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 0 \rightarrow 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 0 \rightarrow \cdot \cdot \cdot \cdot$ 

と変化するようにする為には、「商の余り」を使います。これは常套手段なので覚えておきましょう!

 $0 \sim 4$ を繰り返したいのであれば5で割った商のあまりを出せばOKです!

current	5で割った商のあまり	
0	0	
1	1	
2	2	
3	3	
4	4	
5	0	
6	1	
7	2	
8	3	
9	4	
10	0	

5で割った商の余りで、画像のファイル名が入った images 配列を参照すれば OK!

current	5で割った商のあまり	images 参照	images 参照結果
0	0	images[0]	images/image1.jpg
1	1	images[1]	images/image2.jpg
2	2	images[2]	images/image3.jpg
3	3	images[3]	images/image4.jpg
4	4	images[4]	images/image5.jpg
5	0	images[0]	images/image1.jpg
6	1	images[1]	images/image2.jpg
7	2	images[2]	images/image3.jpg
8	3	images[3]	images/image4.jpg
9	4	images[4]	images/image5.jpg
10	0	images[0]	images/image1.jpg

あとは、images 参照結果で取得した結果を img タグの src 属性にセットすれば OK!



```
var images =
['images/image1.jpg',
                        'images/image2.jpg',
                                               'images/image3.jpg',
                                                                      'images/image4.jpg',
'images/image5.jpg'];
var current = 0;
                                   current を5で割った余りを求める
var recalc = function() {
        current =
        document.
                                       教科書 P.230
        current++;
        refresh();
}
var refresh = function() {
        setTimeout(recalc, 3000);
recalc();
```